

# コロナ禍前と後の〜ジュンク堂池袋本店の場合〜 書店のイベント事情の移り変わり



コロナ禍によって、書店さんのイベントはスタイルの変更を余儀なくされました。各書店さんが、さまざまな工夫を凝らして対応されています。書店におけるイベントは、どう変化したのか、どう変化していくのか……。今回は、その一例としてジュンク堂書店池袋本店の森副店長にお話を伺いました。



## # 今回は、書店におけるイベント等でコロナ前とコロナ後でどう変わっていったのかと、これから先どうなっていくのかお伺いできればと思います。

森：今後はきっとオンラインとリアルを併合した形が今までより増えていくイメージでしょうか。コロナ禍では、その場において、直接会えるってことこの価値が高くなりました。オンラインだったら会えないのでなおのこと、対面できること自体に満足いただけるように感じています。一方、リアルのときの空気感の再現はオンラインだと難しいです。現在は、当店の4Fにある喫茶で対談をしている様子をビデオに撮って、それをzoomに配信するというパターンと、登壇者もお客さんも全員、自宅でzoomの画面だけを見ながら、という2パターンが主です。

## # コロナ前はリアルで、コロナ後はオンラインでの開催になっていますが、メリットは何ですか？



森：メリットはやっぱりお店から遠くはなれた方も参加できるということではないですかね。4Fの喫茶スペースでリアルでやっていたときは、基本的には池袋に通える人でした。うちのイベントは固定ファンというか、どんなイベントでも毎回のように来てくださった方がいらっしゃったのですが、そういう方はオンラインになったら逆にいなくなりました。

小：オンラインになると、少し年齢層が若くなる感じってあるのですか。

森：若干ですね。とはいえボリュームゾーンは50代ですが、その年代の人たちは仕事でzoomとか使っているんでそんなに抵抗はないのではないのでしょうか。でも、もっと上の70代ぐらいになると、あまりオンラインイベントは参加してないような……。取りこぼしてる感じはすごいですね。リアルでやっていたときは、参加するには場所の制限があった。オンラインイベントは、場所の制限はないのだけれど、デジタル方面の素地があるかどうかで、振り分けられてしまう。基本的に配信はzoomなのですが、YouTubeでも見られるようにはしています。zoomがだめだっていう人はYouTubeを見てもらっています。YouTubeだったら、スマホでもパソコンでもzoomよりはなじみがあるかと。

小：参加料はいくらですか？



森：1650円がベースです。

かつてのリアル開催の時は、当日、その場で本を買っていただきたいので、なるべく発売日とか、刊行後1週間以内ぐらいでやっていたのですが、今は発売日にチケット販売をして、1ヶ月ぐらい経ってからイベントをするということが多いです。その間ずっと、書籍付きチケットとして書籍代に視聴料を乗せたチケットを販売しています。お申し込み後、書籍を発送しています。それだと、事前に読んでからイベントに参加でき、より突っ込んだ質問等を登壇者にできるので、参加する人にとっても利点かもしれません。せっかく新刊を買うなら好きな著者が出るイベント券とセットで買っていて、本も読めるしイベントにも参加できる、というようにしたいですね。

チケットだけでもOKですが、書籍とセットだと視聴料が割引になっています。1650円の視聴料が1100円とかになっています。私たちは本を買って読んでもらえるためにイベントを企画しています。実際、池袋本店で売れる以上の数がオンラインイベントだけで売れたりします。

ご協力いただく版元さんに対してもちゃんと書籍を売りますと言えるような状態にしていかなければならないと思っています。

小：情報の発信方法は何かをお使いですか？



森：今はSNSが主ですね。インスタグラム、FacebookとTwitterです。他にはhonto(※)の会員の方にはメルマガが届きます。honto会員の方は結構参加して下さいませ。あとは店頭ですね。でも結局、登壇者の人がSNS等で宣伝してくれるのが一番効いている状態です。必要としている方にダイレクトに情報が届くので。

※)「大日本印刷株式会社」が運営する「紙の本」「電子書籍」「店舗」を横断するハイブリット型総合書店。

## # オンラインのデメリットは？



森：リアルのときは、作家さんに会えることで満足してもらえる部分も多かったし、参加料が1000円で済むこともありました。しかも、話し手も相手の顔を見ながらできるから、割と気持ちに余裕を持って進められるのですが、オンラインは相手の顔が見えないから登壇者は話者として、どんな話をするか、しっかり準備しなくてはならなくなりました。我々もイベントチケット販売するときに、「こういう話をします」「こういう内容です」というのを、しっかり決めて提示しないとチケット販売ができません。「この人とこの人の対談です」だけでは、オンラインでは、なかなか集客できないなと実感しています。「この人とこの人が、こういう話を、こういうことについて具体的にお話します」「ここでしか聞けないお話があります」とか、特別性を出すっていうことと、お金を払っているクローズドのイベントなので、クローズドならではの情報が何か手に入るって思ってもらえないと、なかなか購入までには至らないですね。ひとつのパッケージされたものを提供しているという感じなので、すごく気を遣いますね。

## # これから先、どうしていくのか、どう広げていくのか、教えてください。



森：それぞれのお店で、それぞれのスタッフの企画力をオンラインイベントとして発信していくことを、会社全体としてやれるような場はできつつあります。企画者は池袋本店、丸の内本店だけに留まらず、あちこちにある店舗からいろいろな人のアイデアで、丸善ジュンク堂として、多様性のあるイベントをやっていくという方向性ができつつあります。あと、逆にリアルがより楽しくなるんじゃないかなっていう気もしていて、20人ぐらいの小さな規模で、今まで以上に何かちょっと濃密な感じの、ちょっとしたカルチャースクール的な、学びの場みたいなものを、書店の中に作れるといいのかなという、オンラインじゃない方法も探っています。書店ならではの登壇者にきていただいて何か学習の場みたいな感じを。そこをもうちょっと整備したいです。

オンラインは変わらずオンラインで、たとえ近くにお住まいの方でも池袋まで行くのは、ちょっと、という人はいっぱいいるでしょうし、何かしながらでも見られる利点もありますし、アーカイブが一週間みられるので、当日、どうしてもイベントに参加できない人が参加しやすい、場所と時間の制限がないという特性を考えると、やはりオンラインイベント自体は消えないのかなと思うので、その質のグレードアップは、もう少し図らなきゃいけないかなと。まだまだ発展途上です。

## 今回、お話を伺ったのは……



ジュンク堂書店 池袋本店 副店長  
森 暁子さん

2001年 ジュンク堂書店 池袋本店入社。  
2002年 今はなき大宮口本店に異動。  
2011年 池袋本店に戻り、2019年より現職。



お忙しい中、長時間、取材にご協力いただきありがとうございます！



たくさんの面白いお話が聞けたのですが、紙面の都合上、全て載せきれませんでした。完全版をベレ出版のHPに掲載しますので、ご覧ください。

>ベレ出版HP>書店様向け情報  
>ベレ出版通信バックナンバーより、ご覧いただけます。

# 11月新刊インフォメーション



## 【決定版】語源で増やす英単語

恒石昌志 四六並製 2200円  
978-4-86064-710-0

語源的なアプローチで語彙を増やす単語集です。本書は理論編と実践編の2部構成になっています。理論編では語源での暗記法について詳しく解説します。補足的な意味を示すおたまにつく接頭辞、基本的な意味を示す語根、品詞を決める接尾辞について、それぞれ単語を上げ、図解とともに解説。ここで語源というものがどういうものかがわかり、続く実践編での単語の理解、記憶を助けるものになります。実践編では4300語以上の単語を8つのカテゴリーに分けて収録。イメージイラストでやさしく理解する語源の書籍が多いため、徹底的に語彙力がつけられる一冊になっています。ラテン語、ギリシャ語学習者にも役立つ単語集です。

## 身のまわりのあんなことこんなことを地質学的に考えてみた

渡邊克晃 A5並製 2000円  
978-4-86064-707-0

「地質学」と聞いて、どんなイメージを浮かべますか？ 長い時間をかけて堆積した地層、ダイナミックに沈み込むプレート、大量絶滅をもたらすような火山噴火……。そんな壮大なイメージをもっているかもしれません。

しかし、地質学は私たちの身近にあふれています。鉄やアスファルト、セメント、ガラスなどの建材や、文房具や食器、化粧品などの日用品のうらにも地質学の話がたっぷり。また、街なかで見かけるさまざまな石や岩、自然が生み出す美しい景色や宝石、豊かな恵みをもたらす土壌、社会を支える鉱物やエネルギーなど、地質学のテーマは多岐にわたります。

本書は、身のまわりのあんなことこんなことを地質学的に考える一冊。わかりやすい解説と、豊富な写真や図で、読者のみなさんを面白く奥深い地質学の世界へ招待します。

## 音声DL付 今すぐ話したくなる！ ポミの韓国語活用パターンレッスン

ソ・ポミ 四六並製 1700円  
978-4-86064-708-7

日常でもよく使う、韓国語の基本動詞・形容詞の活用6パターンをリズムよく暗唱し、瞬間的に「活用」を使いこなすことができるようになる一冊です。例文は、少ない語数でシンプルに、普段の日常会話で使えるものを収録しました。この方法で練習することによって、基本形（辞書に載っている形）を学んだ時点で、過去形（語尾が異なる2種類）・現在形（語尾が異なる2種類）・未来形（予定・意志）を自在に変化させることができるようになり、表現の幅がぐっぐと広がります。

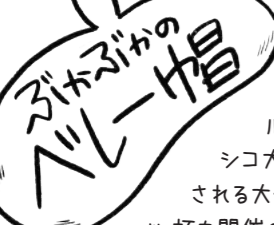
韓国語学習を進めていて、単語を覚えてもなかなか話せるようにならない……とお悩みの方、もっと気軽に韓国語を話したい方、会話を中心に韓国語を学びたい方におすすめのテキストです。

## 「毒と薬」のことが一冊でまるごとわかる

齋藤勝裕 A5並製 1700円  
978-4-86064-709-4

毒が人の健康、命を奪うものである一方、薬は人を怪我や病気の苦しみから救ってくれるものです。しかし昔から「薬と毒は匙加減」というように、毒と薬の違いは簡単に言えば使用料の違いにあります。多くの医薬品は、少量を使うから薬になるのであり、大量に使用すれば副作用で人の命を奪うことになっていきます。毒と薬は化学的な目で見れば、多くの場合、同じ化学物質と言えるのです。本書では、植物、動物、鉱物等多くの天然物に含まれる毒成分を明らかにし、毒物がどのような作用によって人の健康を害し、命を縮めるか、また、それが薬として利用されることはあるのか、あるとしたらどのような効用があるのかも解説していきます。

## 夏季オリンピック翌年の、冬季開催のサッカーワールドカップ…〈バンドウ〉



実感がわきません(8月のお盆現在)。このベレベレ通信が書店さんに届く10月の翌月からサッカーのFIFAワールドカップ(以下W杯)が、カタールで開催されます(はずず)。私が初めてW杯に触れたのは1986年のメキシコ大会でした。マラドーナによるマラドーナのためのW杯として伝説となった大会でした。そこから4年おきに開催される大会ではそれぞれにドラマが生み出され続けました(ブラジルが地元大会でドイツに1対7で敗れるとか!)。そんなW杯を開催の前年からまだまだかと待ち望むのが恒例のことでした。なのに今年は開催2か月前になってもいまだ実感がわかないのです。世界では様々な問題が起こり、夏季オリンピックは一年遅れ、無観客となり、様々な想いととも私の中のW杯待ちは狂わされました。2002年に日本代表が地元大会で勝利したロシア代表は、2022年カタールW杯予選のプレーオフに参加することが許されませんでした。2006年のW杯でウクライナ代表チームをFWとして史上初のベスト8に導いた英雄シェフチェンコは「サッカーどころではない」と一度は絶望したものの「サッカーは私の声を世界に届けてくれる強力な武器だ」と述べるに至りました。

その気候により史上初の冬季大会となったカタールW杯は、私の気分など関係なく無事に盛り上がりていくのかもしれませんが、シェフチェンコは、そしてロシアの代表選手たちはどんな気持ちでその大会を受けとめることになるのでしょうか。もし無事に開催されるのであれば、その時の状況がどうであれ、選手たちの熱いプレーによって、世界の問題に対して、世界で苦しんでいる人々に対して、メッセージを送れるような大会になってほしいと思います。

※以下すべて税抜き価格

邦題 六本木クラス

原題 이태원 클래스

ウェブ漫画歴代有料売上1位を獲得。韓国でドラマ化され、日本でも瞬く間に人気になった。現在は日本版「六本木クラス」としてドラマ・漫画化されている。

Kwang jin 著/扶桑社/  
9784594091774 /  
本体価格 1200円

漫画

邦題 すべての瞬間が君だった  
きらきら輝いていた僕たちの時間

原題 모든 순간이 너였다

全ての瞬間が愛おしくなる、心に染みわたるエッセイ。2018年には韓国で「YES24 今年の本賞」を受賞。韓国ドラマ『キム秘書はいったいなぜ?』でも登場し話題に。

ハ・テワン 著/呉永雅 訳/  
マガジンハウス / 9784838730995 /  
本体価格 1400円

イラストエッセイ

邦題 夢を売る百貨店  
本日も完売御礼でございます

原題 달려구르 꿈 백화점

眠っているときにしか訪れることができない<ドルグート夢百貨店>で、さまざまな夢を買いくる客たちと出会う連作短編ファンタジー小説。韓国で2021年最も売れた本。

イ・ミエ 著/鈴木紗織 訳/  
文響社 / 9784866515458 /  
本体価格 1580円

小説

邦題 天女銭湯  
原題 장수탕 신녀님

人形制作、緻密なセットづくり、撮影までひとりごなす絵本作家が描く、つつかしくて、ちょっとふしぎな絵本。日本語訳が関西弁なのが面白い。

ペク・ヒナ 著/長谷川義史 訳/  
プロンズ新社 / 9784893096159 /  
本体価格 1400円

絵本

## チェッコリの佐々木様に聞いた 人気の韓国書籍10選

映画にドラマ、音楽にグルメなど過熱する韓流ブーム。じつは韓国書籍も、文学やエッセイなど、ますますの盛り上がりを見せています。そこで今回は、東京の神保町にある韓国書籍専門のブックカフェ「CHEKCCORI(チェッコリ)」の佐々木さんに、いま人気の韓国書籍やおすすめの書籍をお聞きしました。原書の仕入れはなかなか難しいという書店さまでも、日本で出版されている翻訳本の情報を記載いたしました。少しでもご参考になりましたら幸いです。



佐々木静代さん



韓国書籍の邦訳出版などを手掛ける出版社株式会社クオンが運営する、韓国書籍専門のブックカフェ「CHEKCCORI(チェッコリ)」の宣伝・広報担当。

【イラストエッセイ】…癒しや、自分らしく生きましようというメッセージのものが年齢問わず人気。

【詩集】…韓国では詩はとても身近なもので、詩集がベストセラーになることも珍しくない。友達同士で詩集を贈り合うこともあるほど。

【漫画】…2013年、日本でもスマホで読める韓国発の縦スクロール式カラーウェブ漫画「ウェブトゥーン(WEBTOON)」が登場し人気に。

邦題 そこに行けばいいことがあるはず

原題 거기에 가면 좋은 일이 생길 거예요

聴覚を失い、視力まで失う病気にかかっていることが判明した著者。残酷な運命に直面しても前を向く一人の女性の物語を、かわいらしいイラストと一緒に綴ったエッセイ。

ク作家 著/生田美保 訳/  
ワニブックス / 9784847070174 /  
本体価格 1500円

イラストエッセイ

邦題 私は私のままで生きることにした

原題 나는 나로 살기로 했다

韓国で113万部を超えるベストセラーとなり、日本でも54万部を突破した人気のイラストエッセイ。「すべての人に理解されなくてもいい」など、可愛らしいイラストと一緒に気持ちがほぐれるような言葉が綴られている。

キム・スヒョン 著/吉川南 訳/  
ワニブックス / 9784847097539 /  
本体価格 1300円

イラストエッセイ

邦題 アーモンド

原題 아몬드

2020年本屋大賞で翻訳小説部門第一位に輝いた長編小説。「アーモンド」と呼ばれる扁桃体が入りやすくて、感情がわからない少年ユンジェの成長物語。

ソン・ウンピョン 著/矢島暁子 訳/  
祥伝社 / 97849396635688 /  
本体価格 1600円

小説

邦題 少年が来る

原題 소년이 온다

1980年5月18日に起きた光州民主化運動を扱った小説。命を奪われた少年、その家族、過去の活動で受けた暴力にいまなお悩まされ続ける人々など、章ごとに様々な立場の人物をオムニバス形式で描く。

ハン・ガン 著/井手俊作 訳/  
クオン / 9784904855409 /  
本体価格 2500円

小説

戦争日記  
邦題 鉛筆1本で描いた  
ウクライナのある家族の日々  
原題 전쟁일기 우크라이나의 눈물

ロシアがウクライナへの侵攻を開始した2月24日から、避難生活中に書きはじめたスケッチ入りの日記を一冊にまとめたもの。著者がインスタグラムにアップした絵がきっかけとなり、原書がないまま韓国で緊急出版された話題の書。

オルガ・グレンニク 著/  
渡辺麻土香・チョン・ソウ 訳/  
河出書房新社 / 9784309208633 /  
本体価格 1450円

絵日記